

令和7年度真岡市総合教育会議議事録

1. 日時 令和7年10月8日(水) 午前10時
2. 場所 本庁舎403会議室
3. 出席者
(構成員) 中村市長
中山教育長、小倉教育長職務代理者、横山教育委員、伊澤教育委員、
星野教育委員
(関係者) 野澤副市長
(事務局) 古澤教育次長、鶴見学校教育課長、藤澤学校管理課長兼第一・第二学校給食センター所長、細谷生涯学習課長、高崎文化課長、上野スポーツ振興課長、櫻井自然教育センター所長、篠崎学校教育課総務係長、大関学校教育課教育政策係長、吉羽学校教育課指導係長、小林学校管理課学校管理係長兼保健給食係長、村上学校教育課教育政策係指導主事、澤村学校教育課教育政策係指導主事、榎本学校教育課教育政策係指導主事、酒井学校教育課教育政策係主査、大森学校教育課教育政策係主査、古澤真岡市部活動地域移行推進コードイネーター
4. 傍聴人 0名

5. 議題
(1) 部活動の地域展開について
(2) 学校適正配置について

6. 議事の内容
1 開会
古澤教育次長 それでは定刻少し前ですが、皆様おそろいですので、ただいまから令和7年度真岡市総合教育会議を開会いたします。本日の会議の進行を務めます、教育次長の古澤です。どうぞよろしくお願いいたします。

- 2 あいさつ
古澤教育次長 はじめに、本会議の主催者であります、中村市長が挨拶を申し上げます。

中村市長 中村市長による挨拶

- 古澤教育次長 ありがとうございます。それでは、次第、3の議題に入ります。
ここからの議事進行は、中村市長が議長となって進めて参ります。
よろしくお願ひいたします。
- 中村市長 まず、本会議の議事録署名人を指名いたします。
小倉教育長職務代理者及び横山教育委員を指名いたしますのでよろしくお願ひいたします。
これより議事に入ります。議題1、部活動の地域展開について事務局から説明をお願いいたします。
- 大関係長 部活動の地域展開について、現状や今後の展開について説明
- 中村市長 ただ今、部活動の地域展開について事務局より説明がありましたが、この議題についてご意見をいただければと思います。
- 横山委員 卓球部が真岡中と物部中に限られている点について、他校の生徒は参加可能でしょうか。
- 大関係長 現在、実証事業は学校単位。今後は部活動がない学校の生徒も参加できる体制を検討中です。
- 伊澤委員 地域クラブの費用負担について具体的な想定額を教えてください。
- 大関係長 指導者の謝金(部活動指導員と同等の時給1,400～1,500円程度)、保険料、運営費などかかる見込みですが、具体的な月額は参加生徒数などで変動するため確定していません。国からの目安提示を待っています。
- 小倉委員 地域クラブの運営母体(民間、公的機関など)のあり方や、学校から地域への引き継ぎの課題、アンケート実施状況について教えてください。
- 大関係長 令和5年度に生徒、教員、保護者を対象にアンケートを実施済みです。課題については、地域の方に移行しなくてはいけないという意識が不足していましたが、今は少し出てきたと感じています。
- 小倉委員 意識も変わってくるので、始まってからどうなのか、青写真があれば登録する方もわかりやすいと思います。

- 星野委員 9月からの実証事業で見えた課題、指導員研修の有無、教員の兼業の形態について教えてください。
- 大関係長 課題として、学校、指導者、教育委員会間の連携、場所利用等が挙がっています。指導員には年1回の研修があり、今後はコンプライアンスや熱中症対策などの研修を必須としたいです。兼職兼業は教員の希望に基づき校長の承認を得て実施されています。
- 山中教育長 当初の目的は子どもたちのやりたい種目が地域でできることでした。しかし、いまだに国のビジョンが見えています。部活動地域展開を阻む最大の課題として、中体連(中学校体育連盟)の全国大会などが残っています。真岡市としては、競技スポーツとして大会を狙っていくのか、生涯学習を狙っているのか明確に示せると良いと思っています。子どもたちも入りやすく、保護者も期待と、実態の相違がなくなります。また、持続可能性の観点から、教員の兼職兼業は学校単位ではなく、教員が住んでいる地域で行うべきではないかと考えています。今後は、費用、目的などを記した一覧を提示なども考えていきたいです。
- 中村市長 部活動の地域展開につきましては、今後も様々な分野の皆さまのご意見を頂戴しながら、検討を進めてまいりたいと考えております。引き続きよろしくお願ひいたします。議題1については、以上とします。次に、議題2「学校適正配置について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。
- 小林係長 学校適正配置について、現状や今後の展開について説明
- 中村市長 ただ今、学校適正配置について事務局より説明がありましたが、この議題についてご意見をいただけたらと思います。
- 小倉委員 複式学級の出現可能性に驚きました。小規模校では人間関係の固定化や競争機会が不足しています。社会走出去く子どもたちのために、適正配置の推進をお願いします。
- 横山委員 地域住民の思い入れを理解しつつも、子ども達の利益を最優先に迅速に進めさせていただきたいと思います。
- 星野委員 適正配置事業のスケジュールに具体的な期限(目安)を教えてください。

藤澤課長	現時点では「ゼロベース」であり、いつまでという期限は決めていません。地域の理解と保護者の同意がなければ進められない事業であるため、まずは理解を得ながら進めたい考えです。
伊澤委員	現在の小規模校の状況は「緊急を要する事態」であり、政策は流れに任せるのではなく、リーダーシップをもって早期に進めるべきです。また、令和 13 年度以降の長期的な生徒数推計もビジョンとして必要だと思います。
小林係長	令和 13 年度までは現在の出生数に基づいていますが、今後は出生数に左右されます。しかし、減少傾向は想定されますので、長期的に検討していきたいと思います。
山中教育長	地域に学校がなくなると若い人が住まなくなるという意見もありますが、子どもたちにとってどの環境が良いのかをメインに真岡市の適正配置を考えたいと思っております。
中村市長	適正配置の問題はデリケートだと認識し、過去の印象に引っ張られるのではなく、子どもたちにとってより良い環境を模索し、議論を進めていきましょう。 それでは、以上で議事は終了します。

4 その他

古澤教育次長 それでは続きまして4、その他に入りますが、委員の皆様から何かございますか。

その他、意見等なし。

5 閉会

古澤教育次長 以上をもちまして、本日の議事のすべてを終了いたします。皆様からいただきました、ご意見、ご提言につきましては、今後の教育施策に生かせるよう努めてまいります。
それでは、以上をもちまして、令和 7 年度真岡市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時間 午前 11 時 40 分